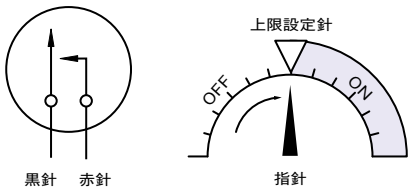
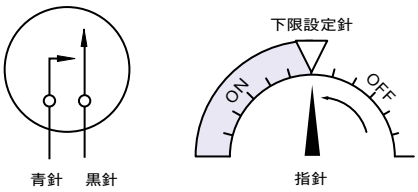
■コンタクト接点付機構・動作例

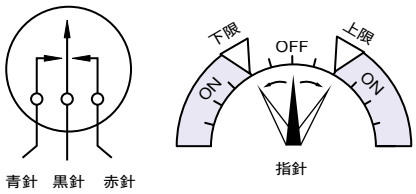
■上限1接点式　上昇してON



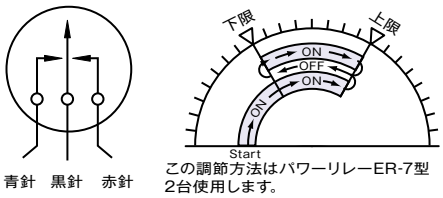
■下限1接点式　下降してON



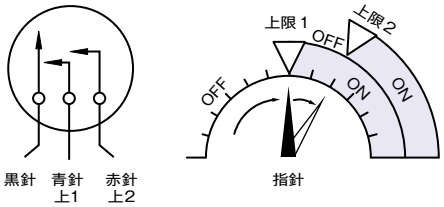
■上･下2接点式　上昇又は下降してON



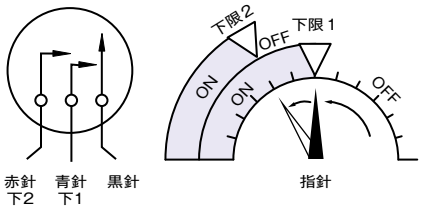
■上･下2接点キープリレー式（自己保持型）



■上･上2接点式　上昇時2段階にてON



■下･下2接点式　下降時2段階にてON



■型式組合せ表

ケース形状	標準立て型　75φ，100φ，150φ	AU			
	壁掛型　75φ，100φ，150φ	BU			
	パネル埋込型　ビス止め式　75φ，100φ	DU			
	パネル埋込型　裏バンド式　75φ，100φ，150φ	DBU			
	屋外防滴型 100φ のみ	WA			
1 接点付			E		
2 接点付			2E		
接続ネジ：各種サイズをご指示ください。P.2				（例）R3/8	
ケース大きさ					75φ
					100φ
					150φ

（注）圧力、連成、真空範囲は P.5 、微圧計は P.12 の表の中からお選びください。
接液部材質、接点種類は P.16 参照

■ターミナル BOX 内の端子台の外し方

①固定ビスを BOX から完全に抜き取ります。
②BOX 内の端子台の片角を、マイナスドライバーの先で掘り起こして取り出します。
または固定ビス用の穴を強く押しても端子台は抜けます。
●電線取り出し口は上・下・右・左の 4 方向に変える事ができます。

■各種接点方式比較表

	特　　徴	問　題　点
コンタクト接点 P.15～18	●接点入切精度が高い。 ●接点の点検、保守がしやすい。 ●無電圧スイッチ。 ●価格が安価。	●接点容量が小さい。 ●接点投入時にチャタリングが発生しやすい。 （専用補助リレー ER-7 型で対応） ●振動のある場所には不向き。 ●シーケンサー接続には不向き。
マイクロ接点 P.19～22	●接点容量が大きい。 ●接点の耐久性が優れている。 ●多少の振動に強い。 ●無電圧 A・B 接点内蔵。 ●接点信号変換器と組合せで防爆対応になる。	●圧力範囲により接点に接断差がある。（F.S 2～8%）P.20 参照 （但し接断差を利用して圧力調整ができます。） ●圧力設定はその都度ケースのフタを開けて行う。
光電スイッチ P.23～26	●非接触型接点のため、接点に誤作動が無い。 ●接点疲労が無いため、長寿命である。 ●多少の振動に強い。 ●シーケンサーに直結可能。	●操作電源が必要。 ●圧力設定はその都度ケースのフタを開けて行う。